

哲學研究

第五百八十號

平成十七年十月十日發行

特集「始源の思索」

On the Origin of the *Lesyzs*Muneo TOKUNAGA... 1

根源の現れとしての文の意味と直観.....赤松明彦... 一

アテイシヤの論理学に対する立場.....宮崎泉... 二

中国藝術理論史序説.....宇佐美文理... 三

メノンのパラドクス、想起、仮設法、

根拠の推理とラリサへの道.....金山弥平... 五

——古代ギリシア哲学における本格的認識論
の始まり——

ロゴスとミュートス.....國方栄二... 八

* * *

コミュニケーションと倫理学(下).....水谷雅彦... 二〇

彙報

京都大學大學院文學研究科内

京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員会の中から互選により代表一名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、委員会の中に「哲学研究」の編集委員会をおく。
- 五、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 六、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 七、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）を前納する。
- 八、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 九、本会は事務所を京都大学大学院文学研究科内におく。
- 十、規約の改正は委員会の決定による。

京都哲学会委員

*
 福根中中徳出田杉櫻小氣川片落芋内字伊伊伊板池芦蘆赤
 谷立村畑永口中村井林多添柳合阪井美藤藤藤倉田名田松
 研俊正宗康紀靖芳道雅信榮惠直惣文邦公和昭秀定 明
 茂介春志雄夫行彦雄夫子介一子行七理武雄行二三道宏彦

藤 松 水 御 宮
 田 田 田 田 田
 和 正 素 雅 克
 生 勝 二 彦 己 泉
 (* 京都哲学会代表)

会
告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月三日(木) 午後一時半

会場 京都大学大学院文学研究科新館第三講義室

一、インドにおける哲学史の二つの系譜……京都大学大学院教授 赤松明彦

一、デカルトとライプニッツにおける
数理と自然の概念……京都大学大学院教授 小林道夫

※ 右終了後京大会館において懇親会(パーティー形式)を開きます。(会費五千円)
※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京都哲学会までお申出下さい。

平成十七年九月

京
都
哲
学
会

彙報

一 京都哲学会委員の異動

平成十七年三月末日をもって、現任委員のうち内山勝利氏、佐々木丞平氏、寶月誠氏が、(定年退職のため) 退任された。また同年四月一日付をもって、伊藤公雄氏(社会学講座教授)、宮崎泉氏(仏教学講座講師)が新たに委員に加わられた。

二 外国人学者来訪講演会記事

平成十七年一月より六月末までに、京都大学大学院文学研究科の旧哲学系諸研究室の主催ないし共催のもとに行われた、外国人学者による講演会は、次の通りである。(なおCOE関連で開催された講演会には含まない。)

Dr. Patriza Poti (イタリア認知科学・工学研究所)

「チンパンジーにおける物の空間的構成 (Spatial construction by chimpanzees)」

平成十七年三月三〇日 於京都大学文学部新館第六講義室

前号目次

近世日本絵画の熟成……………	佐々木丞平
―日本の美意識構築に見る室町期の思想の影響―	
コミュニケーションと倫理学(上)	
……………	水谷雅彦
カントと「真正な生」……………	三谷尚澄
障害状況 (breakdown) からの存在論	
―ハイデガー『存在と時間』における存在と無との	
関係について―……………	松本直樹

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一―四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）をお支払下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に関する一切は東京都千代田区麹町二一六―七創文社（振替口座〇〇一―二〇一〇―九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編集事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編集に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

一、本誌への論文の投稿は、原則として本会会員のみ受付け、掲載の可否については、編集委員会と編集委員会で委嘱した委員（若干名）の査読を経て、編集委員会で決定する。（本会主催の公開講演会の講演原稿の掲載など、編集委員会依頼による論文掲載については、この限りではない。）

京 都 哲 学 会

〒六〇六一八五〇一
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科内
（〇七五―七五三一―七三三三）

平成十七年 十月 五日 印刷
平成十七年 十月 十日 発行

編集兼 京 都 大 学 院 文 学 研 究 科 内
発行人 京 都 哲 学 会
編集委員

伊 藤 邦 武
氣 多 雅 子
内 井 愼 七
赤 松 明 彦

発 売 所 株 式 創 文 社

久 保 井 浩 俊
印 刷 所 株 式 会 社 晝 印 刷
〒一〇二一〇〇八三
東 京 都 千 代 田 区 麹 町 二 一 六 一 七
電 話 〇 〇 三 一 三 二 六 三 一 七 一 〇 一
振 替 〇 〇 一 二 〇 一 〇 九 二 四 七 二

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七
三円）前金にてお送り下さい。

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 580

October

2005

Articles

Leśyā の起源について 徳永宗雄

Sentence-meaning and Intuition

— *The Manifestation of the Origin* — ... Akihiko AKAMATSU

Atiśa's Attitude toward Inference Izumi MIYAZAKI

An introduction to the history of Chinese theory of arts

..... Bunri USAMI

*Meno's Paradox, Recollection, the Method of Hypothesis,
the Calculation of the Cause and the Road to Larisa*

— *The Beginning of Epistemology in Ancient Greek*

Philosophy — Yasuhira KANAYAMA

Logos and Mythos Eiji KUNIKATA

Communication and Ethics II Masahiko MIZUTANI

Notes

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-10 定価 2,625 円 (5%税込) 本体 2,500 円